月刊脊振（げっかんせふり）

福岡県議会議員
（南区選出）
ひぐち明後援会会報誌

ひぐち明後援会事務所
〒811-1311
福岡市南区横手4-5-1
TEL.092-573-1892
FAX.092-573-1897

ホームページ
www.higuchi-akira.com

起業家たちの夢を、福岡の活力に

2008年の幕開けを目前に控え、イルミネーションに彩られた師走の街はますます活気を帯びてまいりました。

今年は、九州初のモーターショーが福岡で開催されるなど、「元気な地方都市」の筆頭としての福岡のパワーを全国に発信できた年だったといえるでしょう。

なぜ、私たちの福岡が「元気な地方都市」であるといわれるのか、その大きな理由の一部に、「シリコンアイランド」とも言われるIT産業支援体制の成功と、全国2位を誇るベンチャー企業創業率があげられます。

福岡県の先端成長産業支援策は非常に高い効果を挙げており、シリコンシーベルト福岡プロジェクトや、福岡バイオバレープロジェクトの推進等、たゆまぬ努力を続けています。

また、ベンチャー企業育成についても、他県に先がけて積極的な取り組みを行なってきた結果、ここ十年の間の創業率は全国2位を堅持、廃業率を常に上回っている状況で、福岡県が起業家にとって非常に魅力的な土地柄であることが伺われます。

福岡の財政状況をよりよくするためにも、それらの新企業が立派に花開き、収益をあげていくことは非常に重要であり、より一層の新企業育成策の充実を図っていくべきだといえるでしょう。

ベンチャー企業育成策の柱ともいうべき試みのひとつ、フクオカベンチャーマーケットをご存知の方も多いと思いますが、これはベンチャー企業と投資家を結びつける場として平成11年に創設されたものです。すでに1388もの企業がプレゼンテーションを行っており、そのうちの17%が商談成立に到っていると聞いています。

「起業は福岡で・活躍は世界で」

ベンチャー企業のなかには、あふれるアイデアやすばらしい技術力をもった企業が数多く見られます。彼らに必要なものは、販路拡大のための熟練したビジネスパートナーです。

しかし、彼らを支援しうる優れたファンドや人材の多くが東京に集中していることは否めません。

そこで、福岡では、2003年に設立された地域密着型ベンチャーキャピタル「九州ベンチャーパートナーズ」や福岡県産業・科学技術振興財団などの専門家による指導など、ベンチャー企業の育成策がスタートしています。

また、東京在住の専門家を集めた「東京応援団」も、首都圏における販路開拓のサポートを行うなど、福岡から有望な新企業が日本全国、ひいては世界の舞台で活躍するための土壌が整い始めているといえるでしょう。

知事からも、更なるベンチャー企業の育成を図っていくとの力強いご返答をいただき、起業家達に対する期待度を確認できました。

「起業は福岡で・活躍は世界で」

フクオカベンチャーマーケットのスローガンが、福岡のやる気あふれる人材にとって、手の届く夢となり、彼らの熱意が福岡の活力の源となってくれるよう、サポートを続けていきたいと思っています。

しかし、事業初期のバックアップ体制は成熟しつつあるものの、ベンチャーマーケットをきっかけに上場するまでの成長を遂げた企業はわずか22社。もちろん上場を果たすことばかりを重要視するわけではありませんが、上場をひとつの活力の指標として捉えると、より多くの上場企業輩出にむけて対策をすべき時が来ていると思います。

そのことを踏まえ、先日、議会において、福岡のベンチャー企業の育成強化策についての質問を行いました。

南区トピックス

福岡市は、30歳半ばの若い市民が非常に多い都市です。

私たちの南区でも、やはり最も多い区民は30代。なかでも団塊ジュニアといわれる年齢層の比率が高くなっています。そしてもちろん、その次に多い年齢層が、「団塊の世代」といわれる50代後半の方々です。

各企業も60歳定年制を、65歳定年制へ引き上げるなど、団塊の世代の方々の豊かな経験やノウハウを少しでも長く活用すべく努力をしていますが、県としても、定年退職後も働く意欲がある方の就労支援をしていきます。

是非、末永く後輩の指導をお願いしたいと思っています。

この用紙は、エコマーク認定の100%再生紙を使用しています。